

重要
企画

三重県保険医協会

医科歯科連携研究会

「食べる」を叶える

「摂食嚥下リハビリテーション」

～複雑化している「摂食嚥下障害」に対応するために～

2024年9月29日(日)

14時30分～16時30分

参加費

無料

- 【会場】 三重県総合文化センター<2階 セミナー室A(男女共同参画センター内)>
- 【対象】 会員(医師・歯科医師)、会員医療機関スタッフ、
介護施設職員 等
- 【定員】 現地参加:70名/オンライン参加:100回線(先着)

<講演概要>

今、医療・介護の領域で「摂食嚥下」「口腔」が注目されています。令和6年度介護および医療報酬改定では**全身機能、口腔、栄養の一体的取組の推進が提唱されました**。その背景には、**年々「摂食嚥下リハ」「口腔管理」を必要とする方が増加しているためと考えられています**。なぜでしょうか？

本研修会ではその理由を考えるとともに、複雑化している摂食嚥下障害の病態にいかに対応すべきか、**医療・介護の現場で摂食嚥下リハを実践するための「ヒント」と「コツ」をお伝えしたいと思います**。



講師: 谷口裕重氏

～ 講演内容や参加申込は裏面をご覧ください～

お申し込み先
お問い合わせ先

主催 三重県保険医協会

TEL 059-225-1071

FAX 059-225-1088

参加申込は
こちらから →



「食べる」を叶える「摂食嚥下リハビリテーション」 ～複雑化している「摂食嚥下障害」に対応するために～

朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授
朝日大学病院 口腔管理・食支援センター センター長 **谷口裕重 氏**

<講演概要>

今、医療・介護の領域で「摂食嚥下」「口腔」が注目されています。令和6年度介護および医療報酬改定では**全身機能、口腔、栄養の一体的取組の推進が提唱されました**。その背景には、**年々「摂食嚥下リハ」「口腔管理」を必要とする方が増加しているためと考えられています**。なぜでしょうか？

本研修会ではその理由を考えるとともに、複雑化している摂食嚥下障害の病態にいかに対応すべきか、**医療・介護の現場で摂食嚥下リハを実践するための「ヒント」と「コツ」をお伝えしたいと思います**。



<職歴>

2008年 4月～2008年 8月 新潟大学医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野 医員
2008年 8月～2010年 3月 新潟大学医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野 助教
2010年 4月～2015年 3月 新潟大学医歯学総合病院 摂食・嚥下機能回復部 講師
2012年 2月～2012年 9月 Johns Hopkins University, Department of Physical Medicine and Rehabilitation Medicine, Post-Doctoral Fellow
2015年 4月～2017年 3月 藤田保健衛生大学医学部 歯科 講師
2017年 4月～2018年10月 藤田保健衛生大学医学部 歯科・口腔外科 講師
2018年10月～2020年 3月 朝日大学歯学部 障害者歯科学分野 准教授
2020年 4月～2023年 3月 朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授
2023年 4月～ 朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授
2024年 4月～ 朝日大学病院 口腔管理・食支援センター センター長（併任）

< 医科歯科連携研究会について >

在宅や介護施設で、嚥下機能や口腔機能に何らかの問題をもつ患者さんが増えています。摂食嚥下については、医科歯科間の連携、多職種間の連携が不可欠です。

今回は、医療・介護の現場で摂食嚥下障害の実態にどのように対応すべきか、必要な知識や情報を学ぶ機会にしたいと企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

2024年9月29日（日）「医科歯科連携研究会」参加申込書

三重県保険医協会 / FAX番号：059-225-1088

参加者名	参加形式	職種	職務年数
	現地参加・WEB参加		年 月
	現地参加・WEB参加		年 月
	現地参加・WEB参加		年 月

医療機関名

会員名

TEL : ()

メールアドレス

@

※WEB参加の方に参加用URL等を送信します。メールアドレスを必ずご記入ください。